

あとがき

「どんな肥料よりも良く効く主人の足跡」

時間ができればいつも圃場に野菜を見に行く、深い慈しみを持って見守りと育成をしていくことを説いています。家庭菜園成功の言葉です。

朝早く起き、朝露のある時間に畑に出て行き、オゾンに満ちた自然を体感し、すくすくと育つ野菜たちの様子を見ると人間の本性に立ち戻れるような気がします。植物は言葉を持たないだけに、その状態を何らかの形で訴えるようです。それを受け止められるようになれば、皆さんも名人の仲間入りです。

「農事暦」や「栽培計画」を立てましょう。自然や宇宙の不思議なかかわりの中で失敗や成功の記録、それは毎日の記録から発することも多いと思います。

新鮮で安全安心な野菜、家族や周りの人々が喜んで食べられる菜園を目指して、次の一步を踏み出しましょう。

平成29年3月



執筆	長尾 義夫	綾川町西分 166-1	(前列中央)
	村山 潔	綾川町滝宮 1769	(前列左)
	大林 巧	綾川町陶 418-3	(前列右)

製作編集	滝宮公民館	綾川町滝宮 297-6	TEL 087-876-1931
	館長	横山 公三	
	主事	岡田 好江	

発行	綾川町教育委員会生涯学習課	TEL 087-876-1180
----	---------------	------------------

発行年月日 平成29年3月30日

